

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム生きがい	評価実施年月日	H21. 8. 1～H22. 2. 2
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	H22.2.15

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域密着型サービスの意義を踏まえた独自のポリシーがあり、それに基づいたサービスを提供しています。</p>		<p>今後も理念を念頭において、サービスを提供していきます。</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>運営理念を職員の目に止まる所に掲示しています。又、社内研修時に理念が実践出来ているかを、再確認しています。</p>		<p>日々の生活の中で再確認した事を実践していきます。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>運営理念を入居の際や面会時、運営推進委員会等において説明しています。又、ホームの見やすい所に常に掲示し、来所時に確認して頂ける様にしています。</p>		<p>今後も家族、地域の方に説明し、ホームの理念を理解して頂ける様取り組んでいきます。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>日中敷地内を開放し、地域の方や近隣施設の方々が、散歩時に気軽に立ち寄りやすいように玄関や周りに花壇を設け、中庭ベンチで休んで頂ける様にしています。</p>		<p>近隣の方が立ち寄られた際は、こちらから挨拶と声掛けを行い、お付き合いの関係を深めていきます。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域小学校行事やお祭りに参加して頂き、ホームの夏祭りには招待する等交流に努めています。又、地域の広報誌にウエス寄付を呼びかけた所、多数の方から協力を頂きました。冬期イベントとして、民生委員と職員でホーム中庭に「雪明かりの路」を制作しました。</p>		<p>地域活動に参加し、地域の方々との交流をさらに深める様に努めています。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>隣接している施設の花植えを行ったり、ホーム中庭に「雪明かりの路」を製作し楽しんで頂いています。</p>		<p>お互いの行事に参加しあいながらお付き合いの関係を深めていきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価や外部報告書に基づき、職員は話し合いを行い、改善に取り組んでいます。</p>		<p>今後も改善が必要な問題等を話し合い、より良いホームにしていきたいと思えます。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1回の開催時に地域の方や家族と話し合い、そこで出た意見をサービス向上に活かしています。</p>		<p>会議時に自己評価や外部評価について報告しています。意見交換を行い、サービス向上に活かせるように努めています。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>小樽市の開催する勉強会に参加しています。又、書類提出する時に窓口で相談をしています。</p>		<p>今後も勉強会に出席し、情報交換を行ったり市町村と共にサービス向上に取り組める様な機会を作っていきたいと思えます。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>管理者研修や、社内研修にて学ぶ機会を持ちましたが、活用には至っていません。</p>		<p>今後も権利擁護に関する制度の理解を深められる様に、学ぶ機会を作って行きたいと思えます。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>定期的に社内研修を行い、学ぶ機会を作っており、職員が熟知出来る様に努めています。</p>		<p>今後も定期的に学ぶ機会を作り、職員全員が理解し、ホーム内で虐待が見過ごされる事が無い様に努めます。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>サービス提供前に、家族に契約書、重要事項説明書等を説明し、同意を頂いている。又、解約時には、不安が無い様に話し合い、納得のいく退去先に移れるよう支援している。</p>		<p>今後も十分な説明を行い、理解、納得して頂ける様都度対応に努めます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者からの意見、不満苦情に思っている事があれば、都度伺う様にしており、家族と相談しながら解決出来る様に努めています。		家族には、面会時や電話にて意見や要望を確認しています。利用者からの意見は、毎日の生活の中でいつでも伺い、対応に努めています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時に利用者に暮らしぶり、健康状態についてお話しています。面会に来られない家族には、電話での報告を行っています。又、2ヶ月に1度近況報告と金銭収支報告書を郵送しています。		今後も個々にあわせた対応をこころがけ、家族に報告させていただきます。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	市や国保連等の外部機関を説明した上で、意見不満苦情があればその都度伺っています。玄関に説明文と共に意見箱を設置しています。		家族がいつでも気軽に話して頂ける様に、日頃からの対応を大切にしていき、運営に反映させたいと思います。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議の席で話し合い、意見提案をきく機会を設けています。運営者、管理者はその内容を反映させていきたいと思っています。		職員の意見、提案等介護している声を重視し、反映出来る様にと努めています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	前もって予定されている時、緊急時の対応には業務に支障が出ないように、勤務調整を行っています。		職員間で調整する様に努めています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時には、利用者への影響が最小限となる様に、職員が関わりを多く持つ様にしています。		職員の異動による不安を解消できるように、利用者への関わりを多く持ち、話を良く聴くよう心掛けています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>毎月議題を決め、社内研修を実施しています。又、外部研修参加への機会確保に努め、出来る限り実施しています。</p>		<p>今後も、社内社外研修に参加する取り組みをしていきます。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>市外のグループホームの見学を行いました。又、グループホーム協議会への参加しており。サービスの質を向上出来る様に努めています。</p>		<p>市外のグループホームの見学を行い、勉強させてもらっています。今後も他のグループホームと交流を持ちたいと思います。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員同士の親睦は図られております。業務上の悩みや、相談事はいつでも話し合えるようにしています。</p>		<p>職員同士が話し合ったり、相談したり又、チーフ、主任にいつでも相談出来る環境作りを今後も行っていきます。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>勤務状況を把握し、職員が経験や能力を生かし、向上心を持って働ける様に努めています。又、外部研修に参加し学ぶ機会を作ったり資格取得もすすめています。</p>		<p>各職員の意見を受け入れて、仕事、生活面において向上心を持ち、自分らしく働いて行ける様に努めます。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居に際しては、本人の意見や意向を尊重し生活歴を聴き取りながら、本人の希望に近づけられる様に努めています。又、継続的に意見や意向を伺っていきます。</p>		<p>入居前には、見学をすすめ何回でも生活の場を見てもらい、不安な部分が解消出来る様に努めています。自身の意見をきちんと伝えられない利用者には、言葉、表情などから気持ちを受け止められる努力をしています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>家族の気持ちを良く聴き取りし、求めていること等をサービス利用によって支援して行けるように努力しています。</p>		<p>家族の気持ちを良く聴きながら意見、意向をいつでも話してもらえる様に伝えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族の話を傾聴する事によって必要とする目標を共有し、最善なサービス提供が出来る様に努めています。		ホーム見学を納得のいくまでして頂き、その都度家族から話を良く聴き、必要としている支援の確認に努めています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家族や、本人共に何度でもホームを見学して頂き、十分に納得した上で入居されています。本人が楽しみを持って過ごし、職員や他利用者とも徐々に馴染める様に工夫しています。		何度でも見学して頂き、職員や他利用者の様子を見て貰い、徐々になじんでいってもらえる様に努めています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	日々の生活の知恵や、趣味等得意な事を教えて頂いたり、本人を支え合う関係を築いています。		料理や手芸、ことわざ等を教えてもらいながら、一緒に過ごし学び、支え合う中で自信を回復し、自分らしい生活を送れる様に支援していきたい。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	利用者に関する事は、家族の面会時や電話等にて相談し、頂いた意見を取り入れながら、本人を支えいく関係を築いています。		面会時や電話等で、日々の生活を伝えていきます。今後も、利用者を一緒に支えていく為、より良い協力関係を築いていきます。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族との関係を把握し、より良い関係を継続出来る様に支援していきます。		家族の関係を理解の上、面会時には近況を伝えたり手紙や電話での連絡調整等を支援しています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が希望された時は、昔から通っている病院受診は家族に協力して頂いています。又何十年來の友人に電話を掛けたりその方が面会に来られます。		今後も出来る限り、本人の希望を受け、家族の協力を頂きながら馴染みの関係が続いて行ける様に努めていきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の生活、性格を把握し利用者同士が関わり合いながら安心した生活を送れる様に支援しています。		職員は利用者同士が良い関係作りが出来る様に調整役となり支援しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後も、相談があればいつでも応じますと伝えていきます。		今後も付き合いを大切にして利用者家族に訪ねてもらえる様な関係を作りたいです。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前に本人、家族より生活歴を聴き取りしその情報を元にプランを作成しその人らしい生活を送れる様に支援しています。		本人の気持ちを一番に考え一人ひとりに合ったケアが行われる様に支援しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者の生活歴を聴き取りにて十分把握しサービス提供に努めています。		聴き取りした内容を職員は共有しこれからもより良いサービスを提供出来る様に努めます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	本人の1日の流れを把握し、食事量、バイタル。水分、排泄をチェックし記録に残しています。心身状態に変化が無いか見守りしています。		利用者一人ひとりの状態を把握し日々のサービス提供がスムーズに行えるよう努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人家族の意向を聴き取り、職員夜勤者の意見を取り入れながら個々に合った介護計画を作成しています。		本人家族からの聴き取りや、担当者会議で本人の心身の状態に変化がないか話し合いながら計画書を作成しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		<p>本人の状況変化があった際は、家族と話し合い現状に即した計画作成に努めています。</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		<p>担当の職員が介護計画を基に日々の様子を介護記録を記入しており情報も共有しています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		<p>利用者や家族の要望に応えられる様に努めていきたいです。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○ 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>		<p>今後も交流を継続していける様に支援します。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>		<p>入居の際の相談や、他施設への転居時等協力を頂いています。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>		<p>今後必要時に相談し、協力していきたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	本人、家族と相談しかかりつけ医を決めています。施設の協力病院を希望された利用者には適切な医療を受けられる様に支援しています。		定期的に受診し、本人の状態を伝えています。医師より受けた指示や病状の説明は家族に連絡し職員と共有しています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院があり、専門医が診察時間を優先的に対応してくれています。		定期受診し、医師からの指示を職員は共有し支援しています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホームの看護師に毎日の健康管理や医療面での相談助言対応を行ってもらっています。利用者の体調変化時、協力病院の看護師に報告し医師の適切な治療につなげている。		利用者の体調変化があった時協力病院の看護師に連絡しホームにて対応する事、受診するか判断を医師に橋渡しして頂いています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には本人に関する必要な情報を提供しています。家族、医師と連絡をとりながら速やかな退院支援に結びつけています。		今後も入院中の様子を確認したりケースワーカーとの情報交換を行い利用者の不安軽減に努めていきます。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	家族や主治医と早い段階で話し合いをしており、方針を共有しています。		家族と情報は共有しています。必要に応じ本人にあった機関の利用を支援しています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人、家族の意向を踏まえ、主治医と連携をとりながら本人が納得し安心して過ごせる様に取り組んでいます。		定期的な治療を受けながら本人がより良く過ごせる様に支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住替先の関係者との間で情報提供を行っており、環境の変化によるダメージを最小限に出来る様に努めています。</p>		<p>本人、家族の希望のあわせ対応して行く様に努めています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の先輩として敬う態度で接し会話する時は聞き取りやすい口調を基本にゆったりとした雰囲気でご過せる様努めています。</p>		<p>人生の先輩として敬う態度で接しています。記録は本人が話した言葉、行動等を書く様にしています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>本人が自己決定出来る様に分かりやすい言葉で伝え確認を取りながら支援する様に努めています。</p>		<p>利用者の希望を取り入れ工夫しながら自己決定しやすい環境作りに努めます。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日々の生活は、利用者のペースを大事にしており個々の性格、体調、状況を合わせた対応をこころがけています。</p>		<p>食事、入浴、手伝い等は各個人のペースに合わせて負担にならない様に工夫しながら支援しています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>季節に合った服装を一緒に選んだり訪問理容で本人の望む髪型に出来る様に支援しています。</p>		<p>季節にあった身だしなみ、おしゃれが出来ているか、時にアドバイスをしながら支援しています。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>利用者、職員が同じテーブルで食事を楽しんでいます。何が食べたいか希望を聞き可能な限り食材を工夫調理しています。又、季節や行事に合ったメニュー提供し盛り付けも工夫しています。</p>		<p>献立に利用者からの意見も取り入れています。食事の配膳や後片付け等毎日自分の役割りとして行っている利用者がいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ホームでは現在タバコやお酒を飲む利用者はいません。飲み物、おやつ等は本人の希望があれば出来るだけ好みの物を提供する様にしています。		本人の好みを聞き出来るだけ希望に添う様に努めています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	各利用者の排泄パターンの把握に努めています。トイレにて気持ちよく排泄出来る様に支援しています。		個々の排泄パターンの把握に努め、便秘にならない生活を支援しています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回の入浴を基本に、利用者のその日の希望を確認し入っていただいています。くつろいだ気分での入浴が出来る様に支援しています。		本人の希望や体調を確認し入浴を楽しめる様に努めています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの体調や表情希望等を考慮してゆっくり休息や睡眠が出来る様に支援しています。眠剤を飲まれている利用者の状況も把握しています。		リビングでテレビを観たり、趣味を楽しまれたり自室で読書される方等好みに合わせ過ごされています。夜勤者からの申し送りにより睡眠パターンを把握し安眠出来る様支援しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の趣味、特技を把握の上、楽しみごとを利用者と相談しながら支援しています。		個々の役割や趣味、楽しみ事を続け張り合いのある生活を送れる様に努めています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金はお小遣いとして預かり事務所で管理しています。希望する利用者に対しては家族に確認頂き少額を持っている方もいます。		置き場所を忘れてしまう事もある為家族と相談しながら対応しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	本人の希望にそい、近隣への散歩に出掛けウサギを見たり道端の花を摘んだり外出の機会を持っている。		今後も個々の体調をみながら無理のない様に全員が戸外に興味を持つ様支援したいです。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	お花見や紅葉狩り等の計画を準備していましたがインフルエンザの流行に伴ない体調優先に考えて今年中止となりました。		利用者の希望等を聞き次年度は計画を実行して行きたいです。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	家族や友人宅には、いつでも電話を掛けたい時にかける事が出来、お話してもらっています。個人宛の手紙が来た際に返事をすすめるが出す利用者はいません。		電話が来たり、掛けたりする事は利用者にとって楽しみな事なのでこれからも支援していきます。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも面会に来て頂き、居室でゆっくりお茶を飲み楽しくおしゃべりして過ごせる様に支援しています。		家族や友人の方々がいつでも気兼ねなく面会出来る雰囲気を中心掛けています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止については社内研修で学んでおり職員は、その大切さを理解しています。		今後も定期的に社内研修を行い都度確認に努めています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関に鍵を掛けていません。夜間は防犯上施錠をしています。		今後も継続していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜通し利用者の所在や状態を把握し安全に配慮している。その様子は介護記録に記載しています。		勤務前に介護記録を読む。又申し送りで利用者の様子を把握し安全確認に努めている。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	鉋、爪切り、工作に使う針等危険な物品に関しては職員が保管し、必要時は渡し職員が側で見守りし使用後は再度保管しています。		注意の必要な物品時には側で見守り、出来る限り本人の持っている力を維持して頂く様に努めています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	定期的に研修を行っています。個々の状態に合わせて体調様子を見守り事故防止に努めています。		社内研修で学ぶ機会を持ち事故防止の取り組みをしています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当、救急救命の講習を受けています。職員はケースを想定しながら勉強会や話し合いを行っています。		消防の協力で講習を受けています。急変や事故発生時は落ち着いて対応出来る様勉強して行きたいです。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方など訓練を定期的に行っている。又、自主訓練も行っています。		敷地内の2つのホームと協力して利用者を安全に避難させる体制を整えています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者の状況の変化等は家族に伝えており、対応策と一緒に考え話し合っています。		身体的、精神的等に変化があれば家族に説明相談し、ホームで行っている対応もお伝えしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日の血圧測定、検温、顔色、食欲、歩行、話し方等観察しています。変化があれば情報を共有し早い対応に結び付けています。		毎日の生活の中で個々の生活状態を把握して異変の発見に努めています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書を記録簿に綴り副作用、用法、用量を把握しており、服用時には日付、名前を読み上げ飲み終えるまで見守っています。		薬の説明書を読み副作用、用法、用量を理解して安全に支援する様に努めます。社内研修にて薬に対する理解を深めています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	十分な水分補給と繊維質の多い食材を提供しています。乳製品を積極的に摂取し体操、腹部マッサージで体を動かしています。医師への相談等も行っています。		排泄表に記録しています。便秘の利用者には飲食物の工夫と体を動かす様に促し又、医師より便秘薬が処方されています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後声掛け見守りにて歯磨きして頂き不十分な利用者には一部介助を行っています。夕食後は義歯を預り、洗浄剤にて消毒し翌朝お返ししており清潔を保っています。		毎食後職員が見守り介助にて義歯洗浄後、口腔内もきれいに洗ってもらっています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食時、食事量水分量をチェックし記録しています。利用者の体調に合わせて食べれる量を考慮したりおかゆを用意しています。		一人ひとりの体調と一日の摂取量を把握しています。又、嚥下機能の低下を防ぐ為嚥下体操を行っています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	利用者、職員共に毎年インフルエンザ予防接種を受けています。ノロウイルス対策は次亜塩素酸ナトリウムで消毒しています。面会者にも手洗いとマスクの使用をお願いしています。		利用者、職員共にうがい手洗いを励行しています。面会者も手洗いとマスクの使用をお願いしています。マニュアルがあり社内研修しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所用具は1日1回消毒行い、冷蔵庫の整理消毒週1回行っており台所は常に清潔にしています。食材は使用日に合わせ注文し新鮮な物を使用し賞味期限を確認しています。		毎日の台所用具の消毒、週1回の冷蔵庫消毒後にキッチンチェック表へ記入しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	建物の周囲は植木や花壇、野菜畑、鶏小屋があり、いやしの空間になっています。玄関は階段とスロープがあり安全に出入りが出来るように工夫しています。来訪者にはすみやかに職員が対応し気持ち良く利用出来る様に努めています。		中庭に設置しているテーブルやベンチに近所の方が散歩時に立ち寄ってくれます。又、家族が気持ちよく利用出来る様に努めており面会にこられる方が多いです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の草花を生け、行事(ひな祭り、五月人形、クリスマス、正月)に合わせ飾り付け、季節感を味わえる工夫をしています。利用者は共用の空間で快適に過ごしており、不快な音や光が無い様に職員が調整しています。		フロアーの壁には利用者が制作した塗り絵やちぎり絵を飾り、明るく楽しい雰囲気作りをしています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング、フロアー、居室等自由に使用して頂いています。フロアーは利用者同士がおしゃべりを楽しんだりTVや新聞を観る等くつろげる空間になっています。		利用者で気の合う同士で過ごされたり、部屋で読書や音楽を聴かれたり休まれたりと使い分けされています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に本人が使用し慣れ親しんだ物を持参される様に説明しており居室に馴染みの家具類や飾り物を配置し居心地よく生活できる様にしています。		家具、飾り物、衣類食器等以前からの馴染みの品を使用し好きな観葉植物や花等の世話をされ居心地良く過ごされています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の時には各部屋の窓を開け空気入れ換えをしたり、換気扇を使用しています。温度、湿度計を設置し定期的に確認し調整しています。		温度、湿度、換気に気を配り、臭い対策としては木炭を置く等し利用者が快適に過ごせる様に努めています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	ホーム内の床は全面バリアフリーであり、廊下、階段、トイレには手摺りが設置され利用者が安全に歩行して頂いてる。		今後も安全にできるだけ自立した生活を送れるよう環境づくりに努めたいと思います。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	一人ひとりのわかる力を活かせる生活を支援しており、必要な目印を付けたり物の配置に配慮しています。		本人が出来る事を見つけ手伝って頂いたり趣味を楽しまれている方への支援を行う等自信の回復へつなげる工夫をしています。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭があり、裏には散策路がある。中庭でホーム喫茶を開き他の利用者とは交流したり花壇や野菜畑を作り、眺めたり収穫し楽しんでいます。		花植えや畑も収穫を利用者の方々と行っています。利用者の体力や気持ちに応じ回数を増やしていきたいです。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)